

今月の谷口雅春先生のお言葉

# 子供の心は敏感に親の言葉に影響される

ロバートの親の言葉は子供に強く影響する

ここに一昨日(編註：執筆当時)の東京日々新聞「城南版」の夕刊がありますが、この中に「親が言うとおりに僕は泥棒どろぼうになった」と題する記事が載っているのです。 (中略)

この記事に表題して「親が言うとおりに僕は泥棒になった。心すべき親の躰しつけ方かた」と書いているのであります。この新聞記者は『生命の真相せいめいのじっそう』をお読みになったのか言葉の力というものを認めて書いてある。確かにこれは親

の言葉の力というものが子供の生活に実現したものでありと認めなければならないのであります。

しかし、われわれでもなんの気なしに子供に対して、この親の言うように罵ののることはないかと考えてみますと、時としてあるかもしれないのであります。「こんなお前なまのような怠ものけ者は、大きくなっても泥棒になる値打ねうちしかないよ」などと言って叱しかることがないともかぎりません。そういう叱言ことがその子供の潜在意識にうんと詰つまっておって、それが有機會に爆発して、実際行動となつて現われてくるならば本当の泥棒となるのです。いつもわたしは雨の降る例をもつて話しますが、雨の降る時

に初めて雨ができたのではないのであって、晴天の時に蒸発しているところの水蒸気が冷気などという「縁」に触れて雨となって降るのであります。それと同じように、この息子が泥棒をするということも、それは泥棒をする時に初めて泥棒をするのではないのでありまして、常日ごろ親がその子供に対して言っておったことが、その子供の潜在意識に蓄積され、それが「縁」に触れたときに泥棒がしたくなり、なんとはなしに品物に対して手が延びてくるというふうになるのであります。かくのごとく言葉の力はわれらを実行にまで駆りたてる強い迫力を持っているのですから、言葉の使い方は非常に慎まねばならないのであります。

（『生命の實相』頭注版第30巻7～8頁）

「〜してはいけな〜」という言葉が子供を損なう

子供に語って聞かせる言葉はもちろん、大人同士が話す言葉でも子供が側で聞いている場合には、その言葉が

どんな印象を子供に与えるかを注意して話すべきであるのだ。子供の過を訂正してやる場合でさえも、「子供というものは駄目なものだ」というふうには話すな。「あなたもだんだん生長すれば益々物解りがよくなって、どうしたら好いかハッキリ解るようになる」というふうに誘導せよ。実際時として子供の魂は大人の魂よりも明かな直覚で輝いているのである。これに反して大人の魂の心の鏡はいかがわしい生活経験で汚され、恐怖と消極的思想で満ちていて、ともすれば、「あれをしてはいけない」「これをしてはいけない」というふうは何事も退嬰的になりがちであるのだ。この退嬰的な気分を子供に映せば子供は発達の第一歩から退嬰的になってしまうのである。そして人生の行路に最も必要な勇氣と果斷と直覺的判断とをその芽生えから刈ってしまうことになるのである。

（新編『生命の實相』第22巻151～152頁）



## 子供をほめる言葉の種子を蒔こう

耳の側で「お前は悪いぞ」「お前は悪いぞ」と始終口小言をいうようにしておればその言葉の力によって、その人は必ず悪人となるのである。「この子はとても強情だ」といつて絶えず責めておれば、その子供は益々強情になるばかりである。言葉は相手の心を動かし、心は行動となって現れるのであって、心に何の印象をも与えないという言葉はこの世にはなく、心に印象された観念で行いに今後顕れないという観念もあり得ないのである。

毎日「馬鹿者！」だとか、「強情」だとか、「仕様の悪い子供だ」とか、親たちや教養係からいわれないで育ち得た子供はほとんどこの世界にないとは何という悲しい事だろう。(中略)言葉は種子を蒔く。それは必ず芽を出して実を結ぶのである。家庭からこうした罵りの声が出ない限りは、かかる家庭で育てられた子供が生長し

て造り上げた社会が善くならないのは当然の事である。(中略)だから吾々はこれらの悪い種子の力を奪ってしまふために反対の種類の種子を蒔かなければならないのである。それは賞讃の種子である。讃嘆の種子である。

(新編『生命の實相』第22巻166～167頁)

## 母親の和顔愛語が子供を善き方向に導く

子供は、かくの如く鋭敏な言葉の感受装置であるがゆえに、子供の側で善きことを話すのはまた非常な善き効果があるのである。吾々成人の魂の奥底にきざみつけられている深切や、いたわりや、愛や、崇高きもの偉大なるものに対する憧憬の大部分は、幼き頃の吾々の魂に、表面的には意味がわからぬにせよ、大人から発せられた善き言葉の精神波動——特に母の和顔愛語が吾々の心に生みつけてくれた精神的影響であるのである。

(新編『生命の實相』第22巻155頁)